

後援会ニュース「しおかぜ」は街づくりのコミュニティ紙として皆さんの暖かいご支援をお願いします。
ご意見をお聞かせください。



しおかぜ

日本共産党浦安市東部後援会
News

第52号

2014年 1月24日
編集責任者 元木計文
047-355-8526
部内資料

安倍政権の暴走STOP



「STOP! 秘密保護法」と掲げてデモ行進する人々＝11月21日、東京都千代田区
【しんぶん赤旗12月1日版より】

右翼的潮流を押し返そう!

安倍政権による新基地建設押し付けを許すかどうか最大の争点となった沖縄県名護市長選が19日、投開票され、「辺野古の海にも陸にも基地をつくらせない」と公約する現職の稲嶺進候補が圧勝しました。選挙結果は、「辺野古移設反対、普天間基地閉鎖・撤去」の「オール沖縄」の声が強圧や背信によってゆらぐものでないことを示し、安倍政権の暴走に痛打を与えるものとなりました。“戦争する国づくり、暗黒日本への道”を許さない! いまこそ日本の理性・良識を総結集し、安倍政権の暴走にストップをかける時です。

戦後68年、米軍基地を無くして欲しいという沖縄県民の総意に構うことなく、辺野古に新しい軍事施設を作るため暴進しています。自民党の沖縄選出国会議員を屈服させた、仲井真知事の頬を札束でひっぱたいた、あの醜態をおぞましい光景は忘れることが出来ません。

消費税増税が目前に迫っています。それに合わせて復興特別法人税を前倒しで廃止します。研究開発・設備投資でも法人税の減税を拡大します。一方、働く人への分配はここ20年減り続けています。この大企業優先の露骨な政治の在り方を変え、日本は、日本の将来に暗澹たるものがあります。



昨年末来、看過できない政治の出来事に憤りを覚えています。

それは、安倍政権がいよいよ衣を脱いで鎧姿になってきたことです。福島原発への対応をなおざりにし、再稼働への前めり、原発輸出のトップセールスマンに化しています。

特定秘密保護法を強行しました。そして、靖国への参拝を行い、アジア近隣諸国との緊張を極度に高め、米欧からすら総スカンを食っています。

次に、集団的自衛権の勝手な憲法解釈による拡大・9条改憲への執念が待ち構えています。現行憲法の理念を生かした平和外交を進んで行わずして、「積極的平和主義」と詭弁を弄して、戦争する国へと突き進んでいます。

これらのことは、「またバカな政治家があんなことをやっている」と見過ごす限度をはるかに超え、自らのこととして身に迫ってきている問題です。子や孫の先の世代のためにも、安倍首相を祖父に続く第2のA級戦犯にさせてはならないということです。

この理性なき政治家の暴走を止めるのは、世論の包囲でしかありません。その世論とは国民それぞれの思いの発露です。政治と私たちの日常

生活の思いとの大きな食い違いを、家族と、友人と、近所の人と語りましょう。可能な方は集いに、デモに出かけましょう。沈黙は金ではありません。

「由らしむべし、知らしむべからず」と、思い上がった政治に強力な反撃となります。

私たちの声を大きくして、正論が正論として通じる世の中にしたいです。



元木計文

新春のつどい

今年の新春のつどいは、第1部で田村智子参議院議員より国会情勢報告、第2部では落語、ジャズ、コーラスを予定しています。楽しく元気の出るつどいにしたいと思います。後援会のみなさん、お知り合いの方をたくさん誘ってください。お待ちしております。

1. 日時 2月2日(日) 午後2時開始
2. 場所 浦安市民プラザ Wave101
3. プログラム
 - ★第1部
 - ・国会情勢報告: 参議院議員・田村智子
 - ★第2部
 - ・落語: 落語家・橘家扇三(真打)
 - ・ジャズ: 渡邊ミマさん
 - ・コーラス: 合唱団“楽歌声”
4. 会費【軽食・飲み物が出ます】 2,000円
5. 参加申し込み
 - ・元木: 355-8526 松木: 354-9212
6. 主催 日本共産党浦安市後援会

犠牲

多喜二は 殺されました

村上 ますえ

一九三三年二月二十日

小林多喜二は築地警察署で 殺されました

特高の拷問の末 殺されました

体じゅうに錐（きり）の刺し傷を残して

多喜二の虐殺を悼んで

津田青楓は描きました

「犠牲」 治安維持法の犠牲者として

片隅に鉄格子

天井から両手を縛られてぶら下がる

体をぐるぐる巻きにされた物体

人として扱われなかった一つの物体

治安維持法の犠牲者 多喜二の姿を

そして彼も監獄へ

私には青楓の声が聞こえました

治安維持法の亡霊が甦ったよ

特定秘密保護法が施行される前に

廃案にしないと

また同じ犠牲者が出るんだよ

津田青楓はあなたにも呼び掛けています

近代美術館の暗い展示室から

犠牲はもうたくさんだと



生物学者の 独り言

—第5回—



生物の大絶滅の後です。同種の種や競争相手が居らず、どんどん拡散していける新天地が広がった時、色々な変異を含んだ生物種が、弱まった適者生存の圧力から開放されて、多様な種の出現につながりました。恐竜が滅びたから、ほ乳類が大進化を遂げる事が出来たのです。

即ち、生物の大進化は競争の結果と言うよりは競争が弱まった結果と言った方が良いでしょう。（次号に続く）

3. 競争、戦争は人間の生まれ持った性質か

安倍自公政権は、戦争への道を突き進んでいるように見えます。橋下大阪市長も教育により過激な競争原理を導入しようとしているようです。そこで、これらの問題の基本について数回に分けて考えてみます。

1) 進化論から考える

ダーウィンの進化論が発表・議論された時、適者生存、弱肉強食が進化の原動力と考えられ、その考えは、その後ヒトラーにも悪用されました。弱肉強食と言われることは、単に種間の食物連鎖の関係を表し、生物界のピラミッド構造を示しているに過ぎない物で、種内での闘争は、けがをしないよう微妙にコントロールされているのが普通です。種の大量絶滅も隕石の衝突や気候の大変動に因ることが分かっています。

当時の進化論を直接ヒトに適用しようとしたのが、優生学で、血友病や色盲など、遺伝する性質（形質という）をヒトの集団から無くす為に、その様な形質を持つヒトの断種を進めるというものです。日本でも、遺伝とは関係ないのですが、ライ病患者が子供を持てないようにする手術が強制的に行われました。

進化論のヒトへの乱暴な適用は、上記のように人類を悲惨な状況に追い込んだ歴史があります。

これまでの生物の歴史の中で、色々多様な種が現れた時期は、

市政報告会

浦安駅前再開発事業について

浦安駅周辺再整備事業に伴い、新浦安駅前の市有地（第6自転車駐車場）とやなぎ通りの沿いの民有地（たかみビル）の交換を、事前に議会の意見を求めることなく事後報告だけで押し進めようとしています。

■ 日時 2月7日（金）午後2時～4時30分

■ 場所 中央公民館 第3会議室

■ プログラム

I：浦安市のステップ1構想について市議会議員から報告

II：全国的な事例や再開発とはどういうものかなどについて

NPO 法人区画整理・再開発対策全国連絡会議事務局長：

遠藤哲人さんから報告

III：質疑・応答

■ 問い合わせ先

日本共産党市議会議員

元木美奈子 355-8526

みせ麻里 354-9269